

戸田ボートレース場

第34回 少年少女サマーフェスティバル

～海と日本プロジェクト～

実施要綱

屋形船プチクルーズ
ゴムボート試乗会
模型モーターボート競技会
科学体験コーナー
イケチョウガイによる水質浄化の環境教室
映画上映(戸田ボートレース場イベントホール)

平成28年7月26日(火)



開 催 趣 旨

生活に潤いとゆとりを求める人々の間で、海洋レジャーに対する人気が高まっています。海はいつも人間に夢と希望を与えてくれる限りない命の源です。しかし地球表面の約7割を占めるかけがえのない海洋も、近年は厳しい環境条件に晒されています。我々に残された地球最後のフロンティアともいえる海を守り、海運の隆盛を次世代に伝えることは、私たち共通の願いといえるでしょう。

海のない埼玉県の子ども達が、屋形船によるプチクルーズやゴムボート試乗を通じ、海洋スポーツをはじめとした様々な海の世界に興味を持つきっかけになればと願っております。

戸田ボートレース場ではこのような願いを込め、毎年夏休みを利用して「少年少女サマーフェスティバル」を皆様のご支援をいただき開催しており、平成28年度におきましては、ゴムボート試乗会としては第49回、模型モーターボート競技会としては第39回を数えることとなりました。

どうか今年もこのフェスティバルに関係各位の皆様方のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

第49回 ゴムボート試乗会

- 1 目 的 児童への海事思想の普及と水上スポーツの振興科学教育及び体力向上に寄与する。
- 2 受付場所 戸田ボートレース場 1 A投票所前
(別途、支部ごとの指定時間をご案内します。)
- 3 乗降場所 戸田ボートレース場競技本部前
- 4 参加者 戸田市内、深谷市、久喜市の児童等
- 5 機 材 トーハツ5馬力 船外機
ゴムボート
救命胴衣・ヘルメット
- 6 試乗順序 来場した児童は、受付を行い指定の待合場所に手荷物等を置いて下さい。説明所でゴムボートの乗り方、運転方法を聞いた後、着用所で救命胴衣・ヘルメットを必ず着用し、ボート発着所からゴムボートに乗り所定のコースを回り発着所に戻ります。救命胴衣・ヘルメットを所定の場所に返し、引換所で記念品を受け取り終了となります。
- 7 ゴムボートについて
ゴムボート試乗会で使用するゴムボートは、大人が3人乗っても十分な浮力があり万一パンクをしても各室が機密になっており沈む心配はありません。
また、ボートに弾力があるので他のボート等に

ぶつかっても危険はほとんどありません。

ゴムボートの運転は、ハンドルを右に回すと右に左に回すと左に旋回します。運転者の左側にアクセルレバーとストップボタンがついており、レバーを握るとスピードが増し、放すと低速に戻ります。ストップボタンはエンジンを停止させるもので、強く3秒ほど押すと停止します。エンジンはトーハツ製の5馬力で最高時速10kmと自転車で走るくらいの速さで水面を走ります。

乗艇者は必ず【ヘルメット・救命胴衣】を着用し、係員の説明・注意をよく守り楽しい運転を心がけましょう。

この試乗会では、小型船舶操縦士の免許を持った者が各ボートに1名乗艇し、運転の指導を行います。



第39回 模型モーターボート競技会

- 1 目 的 モーターボートに関する知識の普及を図る。
- 2 場 所 戸田ボートレース場西側第1ゲート付近
- 3 受 付 9：15～9：40
- 4 参 加 者 小学6年生 約150名
- 5 競技種目
 - (1) 競走部門 1位から12位までを表彰する。
 - (1位)
 - ・主催者からメダル及び記念品授与
 - ・戸田市子ども会育成連合会会長賞授与
 - (2位～3位)
 - ・主催者からメダル及び記念品授与
 - (4位～12位)
 - ・主催者からメダル授与
 - (2) 工作部門 競走部門において入賞できなかった者の中から作品を選考し、上位6名を表彰する。
 - (最優秀作品賞) = 1名
 - ・主催者からメダル及び記念品授与
 - ・戸田市子ども会育成連合会会長賞授与
 - (優秀作品賞) = 2名
 - ・主催者からメダル及び記念品授与
 - (佳作) = 3名
 - ・主催者からメダル授与

6 番組編成（競走部門）

☆予選

主催者側の組み合わせでレースを行い、2着までに入着すると準々決勝戦に出場できます。

☆敗者復活B戦

予選で3着以降になった選手の中から主催者側の組み合わせレースを行い、1着になると敗者復活A戦に出場できます。

☆準々決勝戦

予選において各レースの2着までに入着した選手の中から主催者側の組み合わせで6レース行い、各レースの2着までを決定します。

☆敗者復活A戦

敗者復活B戦の1着および準々決勝戦の3着以下の選手の中から主催者側の組み合わせでレース行い、1着のみが準決勝戦に出場できます。

☆準決勝戦

準々決勝戦で勝ち抜いた選手および敗者復活A戦で1着になった選手が主催者側の組み合わせで3レース行い、各レースの2着までに入着すると優勝戦へ進み、3・4着の選手で順位決定戦を行います。

☆優勝戦

準決勝戦で3着までに入着した6名の選手で、優勝順位を決定します。

※ 当日の参加者人数に応じて、各レースの勝ち上がり入着順位等が変更になることがあります。

7 進行表

午前		午後		
9 : 15	受付開始 (受付終了 9 : 40)	1 : 00	準決勝戦	
10 : 00	開会式(イベントホール) ・主催者挨拶 戸田競艇組合 管理者補佐 飯島 正美 戸田市子ども会育成連合会 会 長 石井 剛 ・競技説明 一般財団法人日本モーターボート競走会 戸田支部 大沼 潤 競技開始(第一ゲート付近) ☆予選☆敗者復活B戦	順位決定戦 優勝戦	2 : 30	表彰式(イベントホール) ・主催者挨拶 一般財団法人日本モーターボート競走会 戸田支部 執行役員 佐々木 祐樹 閉会式(イベントホール) ・主催者挨拶 埼玉県都市競艇組合 事務局長 島田 誠二
12 : 00	☆準々決勝戦☆敗者復活A戦 昼食・工作部門選考	3 : 00	終了	



8 模型モーターボートについて

模型モーターボート競技会で使用するボートは、木製のキットで、モーター・スクリューなど必要なものは全部入っています。

小学校6年生がカッターやサンドペーパーなど身の回りにあるものを用いて、簡単に組み立てることができます。また、ハウスをボール紙やベニヤなどを利用して自作すると各々のアイデアを生かしたユニークなボートを作ることができます。（キットに全長、幅などを示した検査基準を同封していますので必ず基準を満たしてください。）

競走部門は、特設プールを設置して直線約10mの距離で順位を競います。工作部門は、ボートのデザインや色などの優れた作品を選考します。

自分だけのオリジナルボートをプールで走らせて、デザインとスピードを競い合いましょう！！



荒川自然体験・防災学習プチクルーズ ～海と日本プロジェクト～

1 屋形船によるプチクルーズ

- (1) 実施日時 : 平成28年7月26日(火)
- (2) 実施場所 : 荒川下流域(戸田リバーステーション～岩淵リバーステーション)
- (3) 利用艇 : 屋形船2隻、支援艇2隻
- (4) 見学先 : 荒川知水資料館(岩淵リバーステーション下船)

2 参加者 : 荒川近隣の子供会及び引率者

3 参加費 : 無料(昼食・飲み物は持参)



科学体験コーナー

- 1 目 的 手軽で楽しい科学体験や昔ながらの工作技術を子供たちに披露し、体験を通して知る喜びを実体験する。
- 2 場 所 戸田ボートレース場 1 B投票所前
- 3 時 間 10:00～15:00
- 4 参加者 自由参加
- 5 出展予定数 10アイテム
- 6 科学体験コーナーについて

この催しは、自然の現象、科学の原理、新しい科学、不思議な科学などを易しい実験を中心に遊びやクイズなどもまじえて紹介し、「目で見る」「耳で聴く」「直接手に触れる」といった、人間の五感により原体験することを基本としています。

そして、この原体験を通して「なぜ」→「追求」→「発見」→「感動」のプロセスを経て、青少年の科学に対する理解促進ならびに「好奇心」と「夢」を育むことを目的としています。



28年度 出展アイテム

- ① ポンポン船
- ② ドラミング・キツツキ
- ③ プラコップコースター
- ④ とぶ種
- ⑤ 針金アメンボ
- ⑥ こむぎん
- ⑦ がりがりトンボ
- ⑧ 二連かざぐるま
- ⑨ ミニテレイドビー玉万華鏡
- ⑩ 変わっちゃ絵

環境教室

イケチョウガイによる水質浄化の取り組みの紹介

- 1 目的 イケチョウガイによるボートコースの水質浄化の取り組みの紹介や小学生でもできる水質浄化の方法など夏休みの自由研究の参考となる実験などを紹介する。
- 2 場所 戸田ボートレース場 1 C投票所前
- 3 時間 1回目 = 13:00～ 2回目 = 14:00～
※各回30分程度
- 4 参加者 自由参加
- 5 環境教室について
ボートコースの水質浄化の取り組みを紹介し、イケチョウガイがどのようにして水をきれいに行っているのか？真珠がなぜできるのか？や身近なものを使って水をきれいにする方法などについて分かりやすく解説を行う。



別 紙

親子カヌー教室

- 1 目 的 親子でカヌーに乗艇して親睦を深める。
- 2 場 所 戸田ボートコース西側（レガッタ発艇台水域）
- 3 時 間 9：00 ～ 12：00
- 4 対 象 者 親子（子供は小学生） 15組（30名）
- 5 内 容 カヌーの乗り方・こぎ方等
- 6 そ の 他 管理運営については、（公財）埼玉県公園緑地協会戸田公園事務所となります。



